



# SnapCenterサーバとプラグインのアップグレード

## SnapCenter software

NetApp  
January 09, 2026

# 目次

SnapCenterサーバとプラグインのアップグレード	1
利用可能なアップデートを確認するためのSnapCenterの設定	1
アップグレードワークフロー	1
サポートされるアップグレードパス	1
WindowsホストでのSnapCenterサーバのアップグレード	2
LinuxホストでのSnapCenterサーバのアップグレード	4
SnapCenterプラグインパッケージをアップグレードする	5

# SnapCenterサーバとプラグインのアップグレード

## 利用可能なアップデートを確認するためのSnapCenterの設定

SnapCenterは、NetAppサポートサイトと定期的に通信し、利用可能なソフトウェア更新についてユーザに通知します。スケジュールを作成して、利用可能な更新に関する情報を受信する間隔を指定することもできます。

### 手順

1. 左側のナビゲーションペインで、\* 設定 \* をクリックします。
2. [設定]ページで、\*[ソフトウェア]\*をクリックします。

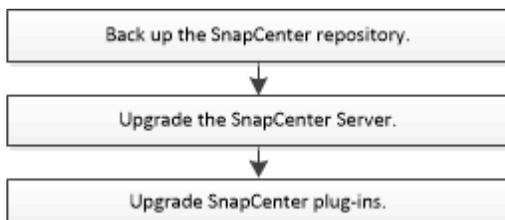
[Available Software]ページには、使用可能なプラグインパッケージ、使用可能なバージョン、およびインストールステータスが表示されます。

3. [\* アップデートの確認 \*] をクリックして、新しいバージョンのプラグインパッケージが利用可能かどうかを確認します。
4. [スケジュール更新] をクリックして、利用可能な更新に関する情報を受け取る間隔を指定するスケジュールを作成します。
  - a. [更新の確認 \*] で間隔を選択します。
  - b. SnapCenter サーバ管理ウィンドウの資格情報を選択し、\* OK \* をクリックします。

## アップグレードワークフロー

SnapCenterの各リリースには、更新されたSnapCenterサーバとプラグインパッケージが含まれています。プラグインパッケージの更新は、SnapCenter インストーラで配布されます。利用可能なアップデートをチェックするように SnapCenter を設定できます。

ワークフローには、SnapCenter Server およびプラグイン パッケージをアップグレードするために完了する必要があるタスクがリストされます。



## サポートされるアップグレードパス

このセクションでは、アップグレードできるSnapCenter のバージョンとサポートされているプラグインのバージョンを示します。



SnapCenter Server を 6.2 にアップグレードする場合は、プラグインも 6.2 にアップグレードしてください。

SnapCenterサーバのバージョン	SnapCenterサーバを直接アップグレードできる環境	サポートされるプラグインのバージョン
6.0	6.0.1	• 6.0 • 6.0.1
	6.1	• 6.1
	6.2	• 6.2
6.0.1	6.1	• 6.1
	6.2	• 6.2
6.1	6.2	• 6.2

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere のアップグレード方法については、以下を参照してください。  
["SnapCenter Plug-in for VMware vSphere をアップグレードします"](#)。

## WindowsホストでのSnapCenterサーバのアップグレード

最新バージョンで提供される最新の機能と拡張機能にアクセスするには、SnapCenter Server をアップグレードする必要があります。

開始する前に

- SnapCenter Server ホストを最新の Windows 更新プログラムで更新し、保留中のシステム再起動がないことを確認します。
- アップグレードを開始する前に、他の操作が実行されていないことを確認してください。
- ASP.NET Core ランタイム 8.0.12 (およびそれ以降のすべての 8.0.x パッチ) ホスティング バンドルと PowerShell 7.4.2 以降をインストールします。
- ジョブが実行されていないことを確認した後、SnapCenterリポジトリ (MySQL) データベースをバックアップします。SnapCenter ServerとExchangeプラグインをアップグレードする前に、これを行っておくことが推奨されます。

詳細については、を参照してください ["SnapCenterリポジトリのバックアップ"](#)。

- SnapCenter Server ホストまたはプラグイン ホストで変更したすべてのSnapCenter構成ファイルをバックアップします。

SnapCenter 構成ファイルの例： SnapDrive Service.exe.config 、 SMCoreServiceHost.exe.config など。

- SnapCenter 5.0 に複数のバージョンのカスタム プラグインをインストールしている場合は、6.0 以降にアップグレードする前に、PowerShell コマンドレットを実行して、以前のバージョンのカスタム プラグイ

ン (最新バージョンを除く) をすべて SnapCenter リポジトリ (NSM データベース) から削除する必要があります。

- 走る `Open-SmConnection` SnapCenterAdmin ロールの資格情報を使用してログインします
- 走る `Remove-SmPluginPackage -PluginName M<plug-in name> -PluginVersion <version number>`

```
https://kb.netapp.com/data-  
mgmt/SnapCenter/SC_KBs/SnapCenter_6.0_upgrade_fails_in_nsm_repository  
_upgrade_SQL_script_8["SnapCenter 6.0以降へのアップグレードが失敗する"]。
```

## タスクの内容

- アップグレード中に、SnapCenter は SQL スクリプトを実行して NSM データベース内の Exchange データを更新し、DAG とホストの短縮名を FQDN に変換します。これは、Exchange プラグインとともに SnapCenter Server を使用する場合にのみ適用されます。
- サーバー ホストを手動でメンテナンス モードにした場合は、アップグレード後に ホスト > スケジュールのアクティブ化を選択して、サーバー ホストのメンテナンス モードを解除します。
- ポリシーでプリスクリプトとポストスクリプトが有効になっている既存のバックアップスケジュールと検証スケジュールの場合、バックアップ処理はアップグレード後も引き続き機能します。

[ジョブの詳細] ページで、スクリプトを `scripts_path` にコピーし、ポリシーを編集して `scripts_path` に対するパスを指定するように警告メッセージが表示されます。クローンライフサイクルジョブの場合は、サブジョブレベルで警告メッセージが表示されます。

## 手順

1. NetApp Support Site から SnapCenter サーバインストールパッケージをダウンロードします。

<https://mysupport.netapp.com/site/products/all/details/snapcenter/downloads-tab>

2. C : \Program Files\NetApp\SnapCenter WebApp にある `web.config` のコピーを作成します。
3. アップグレードが失敗した場合に復元できるように、Windows タスク スケジューラから SnapCenter プラグイン ホスト スケジュールをエクスポートします。

```
md d:\\SCBackup` `schtasks /query /xml /TN taskname >>  
"D:\\SCBackup\\taskname.xml"
```

4. リポジトリのバックアップが設定されていない場合は、SnapCenter MySQL データベースダンプを作成します。

```
md d:\\SCBackup` `mysqldump --all-databases --single-transaction --add-drop  
-database --triggers --routines --events -u root -p >  
D:\\SCBackup\\SCRepoBackup.dmp
```

プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。

5. ダウンロードした `.exe` ファイルをダブルクリックして、SnapCenter Server のアップグレードを開始します。

アップグレードを開始すると、SnapCenter は事前チェックを実行します。システムが最小要件を満たしていない場合、SnapCenter はエラーまたは警告メッセージを表示します。警告を無視してインストールを続行できますが、エラーがあれば修正する必要があります。



SnapCenter は、以前のバージョンのSnapCenter Server のインストール時に提供された既存の MySQL Server リポジトリ データベース パスワードを引き続き使用します。

6. \*アップグレード\*を選択します。

どの段階でも「キャンセル」を選択すると、SnapCenter はアップグレードを停止します。キャンセルしてもSnapCenter Serverは以前の状態にロールバックされません。

ベスト プラクティス: ログアウトして再度ログインするか、新しいブラウザを開いてSnapCenterユーザー インターフェイスにアクセスします。

終了後

- sudoユーザを使用してプラグインをインストールする場合は、C : \ProgramData\NetApp\SnapCenter\Package Repository\SC\_UNIX\_plugins\_checksum.txt\_にあるsha224 キーをコピーして、/etc/sudoers\_fileを更新する必要があります。
- サーバホスト上のリソースの新規検出を実行する必要があります。

SnapCenter にサーバホストのステータスが停止として表示される場合は、しばらく待ってから新規検出を実行してください。**HostRefreshInterval** パラメータの値 (デフォルト値は 3600 秒) を 10 分を超える任意の値に変更することもできます。

- アップグレードが失敗した場合は、失敗したインストールをクリーンアップし、以前のバージョンのSnapCenterを再インストールして、NSM データベースを以前の状態に復元します。
- サーバホストをアップグレードしたら、ストレージシステムを追加する前にプラグインもアップグレードする必要があります。

## LinuxホストでのSnapCenterサーバのアップグレード

SnapCenterサーバのインストーラファイルを使用して、SnapCenterサーバをアップグレードできます。

- 手順 \*
  1. いずれかの操作を実行して、SnapCenterサーバをアップグレードします。

実行する処理	操作
非対話型アップグレード	<pre>sudo ./snapcenter-linux-server- (e18/e19/sles15).bin -i silent -DUPGRADE=&lt;value&gt; -DINSTALL_LOG_NAME=&lt;filename&gt;</pre> <p>例：sudo ./ snapcenter_linux_server.bin -i silent -DUPGRADE=1 -DINSTALL_LOG_NAME=InstallerLog.log</p> <p>ログは <code>_var/opt/snapcenter/logs _</code> に保存されま す。</p> <p>アップグレードのために渡すパラメータ：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• DINSTALL_LOG_NAME：インストールログ を格納するログファイルの名前。</li> <li>• DUPGRADE：デフォルト値は0で す。SnapCenterサーバをアップグレードする には、このパラメータと0以外の任意の整数 を指定します。</li> </ul>
対話型インストール	<pre>./snapcenter-linux-server- (e18/e19/sles15).bin</pre> <p>アップグレードの確認を求められま す。SnapCenterサーバのアップグレードを確認 するには、0以外の値を入力してください。</p>



SnapCenter GUIにアクセスするには、SnapCenterからログアウトしてからログインするか、ブラウザを閉じてから新しいブラウザを開いてください。

## SnapCenterプラグインパッケージをアップグレードする

プラグイン パッケージは、SnapCenterアップグレードと一緒に配布されます。アップグレード手順により、Windows、Linux、またはAIX プラグイン ホストは自動的にメンテナンス モードになります。メンテナンス モードでは、アップグレード中にプラグイン ホストがスケジュールされたジョブを実行できなくなります。

システムはパッケージ内のすべてのプラグインを選択しますが、以前のバージョンのSnapCenterでインストールしたプラグインのみがアップグレードされます。システムは残りのプラグインをインストールしません。新しいプラグインをインストールするには、「プラグインの追加」オプションを使用します。

開始する前に

- Linux マシンにアクセスできる root 以外のユーザの場合は、アップグレード操作を実行する前に、`_etc/sudoers_file` を最新のチェックサム値で更新する必要があります。
- Windows プラグイン ホストに PowerShell Core 7.4.2 がインストールされていることを確認します。

- Windows および Linux プラグイン ホストに Java 11 Oracle Java および OpenJDK がインストールされていることを確認します。
- デフォルトでは、SnapCenterは環境からJAVA\_HOMEを検出します。修正された JAVA\_HOME を使用する場合、Linux ホストでプラグインをアップグレードする場合は、/var/opt/snapcenter /spl/etc/\_にある `_spl.properties` ファイルに `skip_JAVAHOME_update` パラメータを手動で追加し、値を true に設定する必要があります。

JAVA\_HOMEの値は、プラグインがアップグレードされたとき、またはSnapCenter Plug-in Loader (SPL) サービスが再起動されたときに更新されます。SPLをアップグレードまたは再起動する前に、SKIP\_JAVAHOME\_UPDATEパラメータを追加して値をtrueに設定すると、JAVA\_HOMEの値は更新されません。

- SnapCenter Server ホストまたはプラグイン ホスト上の変更されたすべてのSnapCenter構成ファイル (SnapDriveService.exe.config、SMCoreServiceHost.exe.config など) をバックアップします。

## タスクの内容

SnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Server、SnapCenter Plug-in for Microsoft Exchange Server、およびSnapCenter Plug-in for Microsoft Windowsでは、`scripts_path`を実行するために、サーバとプラグインホストの両方を最新バージョンにアップグレードすることを推奨します。

ポリシーでプリスクリプトとポストスクリプトが有効になっている既存のバックアップスケジュールと検証スケジュールの場合、バックアップ処理はアップグレード後も引き続き機能します。

[ジョブの詳細] ページで、スクリプトを`scripts_path`にコピーし、ポリシーを編集して`scripts_path`に対するパスを指定するように警告メッセージが表示されます。クローンライフサイクルジョブの場合は、サブジョブレベルで警告メッセージが表示されます。

## 手順

1. 左側のナビゲーションペインで、\* Hosts \* > \* Managed Hosts \* をクリックします。
2. 次のいずれかのタスクを実行してホストをアップグレードします。
  - いずれかのプラグイン ホストの [全体ステータス] 列に「アップグレード可能」と表示される場合は、プラグイン ホスト名をクリックして、次の操作を実行します。
    - i. [\* その他のオプション\*] をクリックします。
    - ii. プラグインホストがプラグインをアップグレードするための要件を満たしているかどうかを検証しない場合は、[\* 事前確認をスキップ\*]を選択します。



\*事前チェックをスキップ\*を選択しない場合、SnapCenter はプラグイン ホストが要件を満たしているかどうかを確認します。要件を満たされていない場合は、エラーメッセージまたは警告メッセージが表示されます。エラーがディスク容量またはRAMに関連している場合は、`C:\Program Files\NetApp\SnapCenter\WebApp`にある `web.config`、または `C:\Windows\System32\WindowsPowerShell\v1.0\Modules\SnapCenter\`にある PowerShell 構成ファイルのいずれかを更新して、デフォルト値を変更できます。エラーがそれ以外のパラメータに関連している場合は、問題を修正してから要件を再度検証する必要があります。

- iii. [\* アップグレード] をクリックします。

- 複数のホストをアップグレードする場合は、すべてのホストを選択してをクリックし [ アイコン]、 [ アップグレード]>[\*OK]\*をクリックします。

関連するすべてのサービスがプラグインのアップグレード中に再起動されます。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。